

HU-TF STYLE

広島大学陸上競技部

Vol.10

祝入学!! 部員大募集!!



○陸上部の活動予定

○パート紹介

○【特集1】24生インタビュー!!

○【特集2】副キャプインタビュー!!

想

~ never walk alone ~

【部活動時間】

【平日】16:40～

フリー練習 { 水曜日: 中長歩パート
木曜日: 短距離・フィールドパート

【土曜日】10:00～

【年間スケジュール】

4月

- ・インカレ選考会
- ・入学式
- ・新歓



5月

- ・中四国インカレ
- ・幹部交代式



6月

- ・個人選手権

7月

- ・西日本インカレ





8月

- ・ 五大部内選考会
- ・ 夏合宿
- ・ 芸大会

9月

- ・ 全日本インカレ
- ・ 中国五大学対抗戦
- ・ 全日本大学駅伝
- ・ 女子駅伝予選会

10月

- ・ 中四国個人選手権

12月

- ・ 中四国学生駅伝
- ・ 忘年会

1月

- ・ 練習初め

2月

- ・ 春合宿

3月

- ・ 追いコン
- ・ 卒業式

11月

- ・ 運動会





～パート紹介～

短短パート（100m、110mH、etc…）

短短パートは4年生1名、3年生2名、2年生5名の計8名で活動しています。また、院生の方も練習に参加し、技術的な指導をしてくださることもあります。今年は、共に走り、競い合って強くなることを目標とした「共走」を掲げ、日々練習に取り組んでいます。個性的な部員が多く、楽しくかつ真面目に練習できる雰囲気です。

短長パート（400m、400mH、etc…）

短長パートは400m、800m専門の選手がそろっていますが、メリハリがしっかりできているパートです。普段はふざけていますが（特に僕）、いざメニューに入ると元気にかつ集中して取り組んでいます。個性豊かな人が揃う短長パートで、笑いあり涙あり、かわいい子あり（笑）、そんな楽しい陸上をしながら、高い目標を持って取り組めます。

中長歩パート（1500m、競歩、etc…）

中長歩パートはとても人数の多いパートで現在は40名程度の人数で活動しています。全日本駅伝や、競歩の全国大会など多くの全国大会に出場しているパートでもあります。全国出場や自己ベスト更新、対抗戦出場などそれぞれの目標の中で高いモチベーションを持ちながら日々練習に励んでいます。厳しくも楽しい三瓶合宿を始め、高校では味わえなかった楽しさもたくさんあります。

フィールドパート（HJ、LJ、SP、etc…）

フィールドパートは、種目数の多さと同じく個性の溢れるパートです。一見ばらばらに見えることもありますが、全員が互いの個性を認め合い、のびのびと練習に取り組めることから最もまとまりのあるパートでもあります。目標の「彩盛」はそんな一人一人の個性、彩りを尊重し、よりチームを盛り上げていこう！という意味を込めています。毎年キャンプにいったりと遊びも全力で楽しむフィールドパートで、充実した大学生活を過ごしてみませんか？

マネージャーパート

タイム計測を中心に全パートの選手のサポートを行っています。広大陸上部は部員100人以上の大規模な部活ですがパートを越えて仲が良く、特にマネージャーは全種目の選手と深くかかわることができます。選手と一緒に陸上競技に取り組み、大会では大きな感動を共有することができるパートです。マネ全員誰よりも陸上を愛し、選手を愛し、部活を楽しんでいます。男女問わず陸上好きな人、マネベンチで待ってます！！

特集1!!

24生インタビュー

～1年間を振り返って紹介してもらいました～

今回は3名の24生が協力してくれました。

坂井 駿介(さかい しゅんすけ)



パート：短長
専門：400mH
座右の銘：
無理しない
彼女の有無：有

ベスト記録

【400mH】
54” 45

上田 貢(うえだ みつぐ)



パート：短短
専門：100m
陸上2年目です!!
(昔は野球を
やってました。)

ベスト記録

【200m】
23” 20

守屋 智裕(もりや ともしろ)



パート：長距離
専門：5000m
持ちネタ：
ジブリモノマネ
好きな台詞：
カンター!!!!!!!

ベスト記録

【5000m】
15’ 36” 52

坂井：大学でも陸上を続けようと思ったのはなんで？

上田：僕は高校までは野球をやってたんだけど、高校までで野球はいいかなーと思って大学でも部活をやろうと思った。それで何にしようかなと思ってたときに小学校の時に陸上をやってたので大学でもやろうと思った。

坂井：じゃあ、次は守屋！

守屋：僕が大学でも陸上をしようと思ったのは・・・なんやったけ？

上田：緊張しすぎて言葉がでない(笑)

守屋：えっと、中学校からの友達がずっと陸上を続けてて、まあその友達に負けたくないというのがあって大学でも陸上を続けることにした。

上田：はいっ！(手をあげて)僕から坂井君に質問です。広大陸部に入って1年間通してどのような感想をもった？

坂井：えー、先生やコーチがいないので不安に思ったけれど、先輩方がしっかりとメニューを考えてくれてとてもいい練習ができていると思う。

上田：(キャラを)作ってるでしょ！！君(笑)

坂井：陸上部に入ってよかったです！！はい、次守屋どう？

守屋：どうって？

上田：最初入った時の感じと一年間通してどう思うかとか、入ってよかっただとか・・・。

守屋：いままでの部活は指導者がいて忠実にメニューをこなしていく関係だったのが中高の部活で、大学は基本的に個人の考え主導の練習が続いていくというのが大きな違いで・・・うーん。。。

上田：うーん。丸々かぶってるね。

坂井：(笑)

上田：じゃあ、1年間で楽しかったことや大変だったことは？

坂井：まあ、慣れるまでは大変だと思う。先輩方もいっぱいいて・・・すぐ中四個人あっていろいろやらないといけないし。大変だと思うけど慣れてきたら楽しいよ。(上田を指して)じゃあ、新入生に向かって一言。

上田：ズルいぞ！お前もちゃんと言えよ！

広大陸上部はそんなにがちがちした雰囲気ではなくて、ふわふわゆるゆるした感じなんだけど、やるときはしっかりやるといった感じで、すごくつながりも強いので興味のある人は入ってください！次、守屋！

守屋：最後にしてください。

上田：締めは大変ですよ！じゃあ、坂井さん！

坂井：特にない。

上田：特にない？じゃあ、「入ってくるな」ということですか？

坂井：いや、自分で決めたらいいと思います。

上田：じゃあ、締め！一言を体で表して(笑)

守屋：それは無理！

上田：大丈夫！文章にしかならへん。

坂井：でも、写真は載るかもよ。

守屋：じゃあ、嫌！

新入生は自分のやりたい事や目標があったら入ったらいいと思うし、一人ひとりやりたいこととか全然違うし、目標とか最終的に行き着くところとかも全然違うっていうのもあるけど、入って見たらなんだかんだ練習してみたりして、いろいろな形で集まっていくので、まあ入ったら楽しいんじゃないかなと思います。

3人ともありがとうございました！

特集2!!

副キャプインタビュー

～広大陸上部についてインタビューしました～

—まず、22幹部の目標は？

香月 & 三輪：想 ～never walk alone～

—その目標の意味は？

三輪：「想」は相手を心で支える。「never walk alone」でひとりじゃないよっていう。

ねっ？

香月：「never walk alone」はイギリス英語でひとりじゃないよという意味なので、それを「想」に付け加えてこの目標になりました。

—22幹部のいいところは？

三輪：私は人数が少ないからこそひとりひとりの役割がはっきり自覚できるんじゃないかなっていうのは思っていて、22内でのコミュニケーションじゃないけど、そういうのがやりやすいのかなっていう。香月は？

香月：22は個性がある人が多いから後輩、先輩とも絡みが濃いというか親しみやすい人が多いから部内の意見を聞き取りやすいのかなと思う。

三輪：あと、まったくしてる。のんびり屋さんが多いというか

香月：いいかのか悪いのかは別にして(笑)

三輪：あと「なんとかなるさ」精神はみんなある気がする。

香月：あるね。

—選考会やインカレが近づいてくる中で今のチームの雰囲気は？

香月：3月入ってからちょっと締まってきたかなというのは思う。ある程度試合というのが近づいてきて、一人ひとりの意識が変わってきて、練習でも試合をイメージしながらやっているのはすごく感じる。

三輪：春合宿をターニングポイントみたいにしてけっこうみんな切り替えができてきているんじゃないかなっていう。でも、まだもっといけそうだなっていう感じはするね。

—3年間大学で陸上をやってきて感じる高校との違いは？

香月：うーん。それはいろいろあるけどな。まずは、高校の時はどちらかというと自分し主体で競技をやった。リレーとかも出るけど個人の種目をいかに自分の力で伸ばしていくかっていうのが。自分は指導者がいなかったのが非常に大きかった。でも、大学はやっぱり大きな試合はパートを問わず、全員で応援するっていうのがすごく特徴的で、大会においてもひとりひとりが記録を出すことで盛り上

げるんじゃないかって、チームとして丸となって向かっていくという雰囲気が好きかな。

三輪：なるほど。私は、大学入るまでは部活ってあんまりやったことなかったから違っていてあんまりわからないけど、広大陸上部のいいところってやっぱり家族みたいだなっていうのはすごく思う。悪いところがあればちゃんと言う。でも仲はよくて、何かあれば駆けつけるのもあるし、香月も言っていたようにチームでというのが強いんじゃないかなと思うな。

香月：あとは高校の時はその県内でしか試合はないけど、大学は中四国という何県もの他の大学に人たちとふれあう機会があって、視野がとて広がるということもある。陸上の世界が広がるというか。

三輪：あといろんな学部の人が出て、全然知らない分野の人とかもいて、それがすごい楽しいな～って。

—これが広大陸上部っていうのは？

香月：難しいな～

三輪：応援じゃない？あとインカレのレペとか。あれは「THE 広大」って感じがする。なんか応援がすごい。10000m競歩とかでも座らないのは広大だけだし。応援したくなるような選手がいっぱいいるっていうのも広大らしくさかな。

香月：人数多いしね。院生さんいれて100人くらい。

—大学入って苦労したことは？

三輪：私は最初先輩たちがめっちゃくちゃ怖かった(笑)山男部室でエンドレスで流すし、後輩押さえつけてタバスコ飲ますし(笑)それを初日に見てしまったので





「ひいー」ってなったけど。まあ、徐々にどんだけ楽しい先輩かっていうのはわかったけど。最初はやっぱり大学に先輩って怖いなってというイメージがあったかな。

香月:まりんは？

三輪:私、めっちゃ怖がられると思う。

香月:うん、怖い。

三輪:私厳しいから。

香月:苦勞したときは、受験のブランクで全然記録が出なかったとき。それに加えて怪我も重なって、もうどん底になって病んだけど、先輩とかが話を聞いてくれて励ましてくれて、周りの人が支えてくれたおかげで乗り越えることができた。それが今となっては陸上生活においても人生においても生きているのかなと思う。

ーラストイヤーにかける意気込みは？

三輪:もちろん競技で自己ベスト出したいというのは一番にある。でも、それ以上に22幹部としてやり切りたいというのがすごくあって。それを先輩たちが「22さんについていきます」って思ってくれるくらい、ほんとやり切ってやり切って消えるくらいでもいいからやりつくしたいなと思う。

香月:僕も、22として今まで10カ月やってきたものをインカレで形としてなにか残せればいいかなと思ってる。自分の競技も自己ベストで終わりたい。あと、マイルも優勝したい。

三輪:しろっ！してくれ！

香月:はい。

ー新入生に向けて一言

香月:そうですね。さっきと似てるけど陸上の見方が高校とは変わるかな。一人暮らしで環境も変わって、苦勞することも多々あるけどその中で競技を通して得られるものもあるし、チームとしてやっていく中で得られるものもとても多くて、人間的に成長できる場ってというのが大学で陸上やって一番思う。あと、大学生活に刺激がほしい人はぜひ。僕も大学入って陸上やって、陸上つながりで彼女ができたので(笑)出会いを求めたい人もぜひ。

三輪:なるほど(笑)たぶん広大陸上部に入ったら人生変わると思う。もちろん人とのつながりもいっぱいできるし、ほんとに家族みたいな仲間がたくさんできるし、陸上のいろんな見方ができるんじゃないかと思う。

副キャプの2人
ありがとう
ございました。



インタビューー: 橋口 幸貴

～ 副キャプテンプロフィール ～

香月 勇人
(かつき ゆうと)

パート: 短長 (チーフ)

専門: 400m

学部: 理学部

出身高校: 東筑 (福岡)

特技: サッカー、野球
(橋口・神田調べ)

口癖: うわあーいと！



三輪 真琳
(みわ まりん)

パート: フィールド

専門: 走幅跳

学部: 教育学部

出身高校: 静岡雙葉 (静岡)

特技: 水泳
(橋口・神田調べ)

口癖: ギャー！！！！



Thank you for reading

